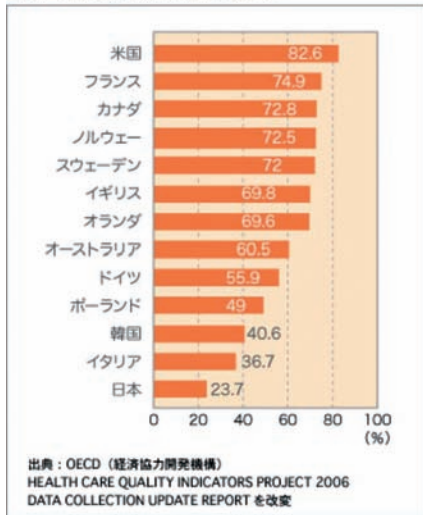


図1 国別子宮頸がん検診受診率



子宮頸がんは、子宮の入り口に発生するがんです。日本では年間約2900人が子宮頸がんで死亡しています。原因は、ヒトパピローマウイルス（HPV）に持続的に感染する事と考えられています。HPVは性交渉により感染し、多くの女性が一生に一度は感染すると言われる、ありふれたウイルスです。通常は感染し

ドクターからの健康アドバイス

婦人科検診（子宮頸がん検診）のススメ



愛染橋病院
産婦人科

だいもん えみこ
大門 映美子

ても、異物を排除する免疫機能により自然に排除されますが、排除されずに長期間感染が続く場合があります、そのうちの一部の人の細胞ががん化する事が分かっています。

子宮頸がんの罹患率と死亡率は、子宮頸がん検診を受診すれば、受診しない場合と比べて、減少することが科学的に明らかにされています。しかし子宮頸がん検診の国際比較（図1）を見ると、日本は最低レベルに位置しています。

日本人女性が子宮頸がん検診を受けたいのはなぜでしょう？自分は大丈夫だと思っている、婦人科の診察に抵抗がある、費用が高いと思っているからでしょうか？たしかに日本人の感覚として、予防という目的で病院にかかる人はあまりいないのかもしれませんが。子宮頸がんを発症しても、初期はほとんど自覚症状がありません。通常、子宮頸がんは一定の間をかけてゆっくりと増殖します。まずはがんに進行する可能性がある細胞（異形成）が増え、最終的にがんになります。定期的な検診を受ければ、がんになる前の異形成の段階で見つけ、治療を受けることが可能です。婦人科を受診する事は恥ずかしいかもしれませんが、がんになるかもしれないという可能性を考えて、勇気をもって検診を受けてみてください。検診で異常が発見された場合には精密検査を確実に受けて頂き、その結果に基づき、適切な治療を受けて下さい。